

# 未来への私の夢…そして挑戦！



九州日観植物 株式会社  
代表取締役 菊地 一郎氏

大学卒業後、大手金融機関に就職して仕事の厳しさを感じながら遣り甲斐のある日々を送っていました。そんなある日、私に声をかけてくれる会社があり、私の人生の舵を切り替えることになりました。

入った会社は、創業48年のオーナー企業ではありますが、業界では歴史と伝統のある会社（花市場）で、西日本における園芸植物流通の拠点として根ざし、九州で最も大きな園芸植物の流通市場です。また業界初の自動搬送システム導入により、事業の先進性やモデル性は高く注目され、業界のリーディングカンパニーでもあります。それだけに経営幹部として期待に応えられるだろうかと不安もありました。

しかし、弊社は人材育成に力を入れ、以前から導入していたSMIカンパニー「エグゼクティブ幹部研修」を受講する機会を得、①魅力的なリーダーになるため「組織の目標を指し示すこと」「社員の将来（仕事・生活）を見せること」

②マネジメント能力をつけるための自己啓発③健康的な生活の確立等々目標を掲げました。その目標達成するうえでSMIがとても役に立ちました。一番大きいのは「習慣と心構え」「異体性」の重要性です。

自分自身に必要な変化を成し遂げるためには、この習慣と心構えを取り組まなければならず、そして習慣が時間節約となり、心構えは考え方の習慣であるという考え方は私にとって新鮮に感じましたし、今まで目標や何か困難なことに對して自ら勝手にハードルを上げていたことに気づかせてくれました。この概念を踏まえれば、「変わる」というハードルが低く感じるようになりましたし、出来ないことはないという気持ちになりました。



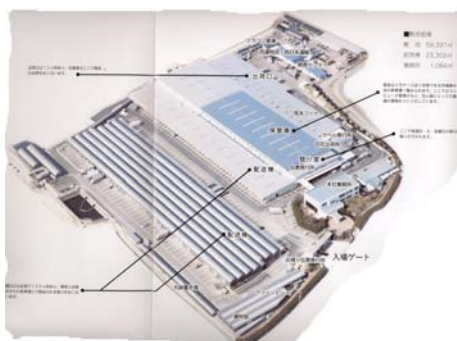
SMI カンパニー



また、何事にも具体的、計画的でなければならぬ、そうでないと目標達成は難しくなります。私の立場上、人とともに、人を通じて、人の活動によって成果を上げることが目的であり、そのために

## 九州日観植物株式会社 代表取締役 菊地 一郎氏

九州日観植物（株）一九六八年筑紫野市にて、創業者である西川勲会長が24歳の時、西日本における園芸植物流通の拠点として、花き植物取引場を設立。卸売市場近代化の先達者として業界を牽引。



《全 景》  
甲子園球場 1.3 倍の広大なフィールドに  
花と緑が華麗に集います

何をなすべきかを、曖昧なものではなく具体的に考えるようになりました。

社長に就任し約2か月が経ちましたが、日を追うごとにその重責が増していますし、社内的にも色々な課題を解決していかなければならない現実を考えると、プレッシャーや不安に押し潰されそうになる時もあります。しかし、「これほど遣り甲斐のある仕事はない」と思えば、全てにおいて前向きに考えることができます。

創業者から引き継ぎ、50周年を迎えるにあたって、この先50年、100年と存続させていくことが私の使命だとも思っており、そのためには、もっともっと存在価値の高い会社（花市場）にしていきたいと考えています。

今、取り組んでいることは、もう一度原点に帰ることです。私どもが、存続してきた理由は何なのか、何を大事にして

きたか、そういったものを今一度ここで振り返り、学び、そしてそれを未来に繋げていく作業をしなければなりません。その上で、明確なビジョンを掲げ、具体的な目標、計画、行動基準に沿って、実践できる集団（組織）にしていきたい、当たり前のことですが、今までそれが出来ていなかったもので、会社（市場）の原点、仕事の原点に立ち返り、丁寧に進めていきたいと考えています。

私の夢は、今まで以上に皆様から愛される会社（花市場）になることです。そのためには新しい事にも積極的にチャレンジしていきたいですし、より良い商品やサービスを提供していきたいと思っています。

また、会社（花市場）の存在は、お取引先様だけではなく、社員一人ひとりのためのものでもあります。仕事だけではなく、人生の目標を立ててそれに向かって成長していける場（環境）でなければならぬとも思っています。そしてその結果、「人に喜んで頂ける」「感謝して頂ける」ことが、私の喜びであり、次へのモチベーションとなります。

今回、会報掲載のお話を頂いたのを機に当時の研修内容を振り返ることができました。心構えの重要性を再認識すると同時に、今後ともあるたびにまた読み返すことになるだろうとSMIの重要性も再認識した次第です。創業者の思いを大切に夢に向かって、挑戦し続けます！